
日々

鬼夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日々

【Zコード】

Z0748C

【作者名】

鬼夜

【あらすじ】

私の一日を小説にして書いた物です。詩っぽいかもしませんね。

朝8時。学校に行く時間。

家を出て約20分。

遅刻すれすれで教室に入る私を、皆が見る。

「 笹倉つていつも遅いよな~。」

「 もういつも早く来いよー。」

「 お前遅くにしか来れないのか?」

いつもいつも、言われる言葉。

そんな事、わかってる。

わかってるんだけど。

なら早く来いつて思うかもしないけど、私は早く行きたくない。

早く行つたら、早く行つたで色々言われるから。

「 笹倉が早いなんてめずらしそうすぎるだら。雨でも降るんじやないか?」

私はもうどうすればいいかわかんないから、遅く行く。

早く行つて雨が降るよつ、遅く行つて何も無い方が良いからね。

授業の時。班で話し合ひをひいたりしたとか言ってたけど、

私の班は「班で話し合ひ」じゃなくなつてゐる。

私の意見なんて、完全無視だもの。

とこつより、女子の意見は完全無視つて感じ。

班の話し合ひとこつより、男子の話し合ひ。

昼食。私の班は会話ゼロ。話してるとこえは、男子だけ。

女子が何を言おうと、関係ないだろみたいにしてくる。

私はいつも、こんな日々を過へしてゐる。

最初は、凄く悲しかつたけど、今はもう慣れきつてしまつて。

もうすべでがどうでも良くなつた。

そんな感じで。

1日の終わりの時。

明日も今日と変わらない日なんだろ?とか考えている。

また、明日も同じ時を過へる。

透
り
わ
い
め
日
々。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0748c/>

日々

2010年10月13日22時49分発行